## は ち

私たちのすべてを変えてしまっ

さな頃に出会い、小・中・高と同

本もと さん



がとうございます。 式典を催していただき、 門出に対し、このような、 本日は、 成人を迎えた私たちの 誠にあり 盛大な

を代表して、心より感謝申し上げ 席いただきました皆様に、 ご来賓の方々、さらに、多数ご来 いただきました、町長をはじめ、 また、お祝いや激励のお言葉を 新成人

> 何度も旅行に連れて行ってくれま と言ってくれたクラスメイト。「若 た時はお互いさまなんだから。」 て、「いつでも遊びにおいで。困っ 私を家に招き、温かいお風呂とお まま避難を余儀なくされたとき、 本大震災が発生し、 共に頑張った部活動の仲間。 の気持ちをぶつけ合いながらも、 を返してくれる近所の方々。自分 ながらも、 ちの笑顔を思い出します。厳しい 日々を振り返ると、 大変さを日々感じながらも、 た。社会の厳しさや、 職をしてから二年目を迎えまし が経とうとしています。 いうちは何でも経験しなさい」が くれた家族。 した毎日を送っております。 いくなか、私は、高校を卒業し、 就 癖の上司は、 しいご飯をごちそうしてくれ これまで、 復興に向けた活動が行われて あの東日本大震災から、 いつも温かく見守って いつも、 私が過ごしてきた 国内外を問わず、 訳も分からぬ 出会った人た 笑顔で挨拶 働くことの 広野町で 東日 充実

もう記憶には無いほど小

また、

ます。 そらく、 は酒を酌み交わす大切な友人もい じ学校で、 二十歳を迎えた今では、月に一度 一緒にいる時間が長く、 お互い自分の家族よりも 同じ部活動に所属。お 就職し

動をし、 さんの人に助けられ、 困難を乗り越えて、常に考えて行 なりません。そのために、これか ことができるようにならなければ 見守られながら歩んできました。 きたいと思います。 ら経験するであろう、たくさんの からは、私がまわりの人を支える らないと思います。しかし、これ もちろん、 今までの二十年間。私は、たく 少しずつでも成長してい これからもそれは変わ 支えられ、

意を表して、代表の挨拶とさせて ててくれた両親をはじめ、支えて いただきます。 いただいた方々に、心から感謝の 最後になりますが、 今日まで育



き活きと働いていきたいと思いま

最後に、ここまで育ててくれた

支えていただいた全ての 感謝の意を表して、新成

職業を目指したいと思います。そ で、考えて、自分が一番やりたい

して、その職業に就いた時に、

方々に、 両親や、

人代表の挨拶とさせていただきま

本日は、誠にありがとうござい

## が祐 ど藤 Ė さん

本日、私たちが成人として新たな人生を踏み出すにあたり、このように盛大な式を挙げて出発 を祝っていただけたことに対し、心から御礼申し上げます。

柔不断な私なりに、たくさん悩ん

迷うかもしれません。ですが、優 り、看護師になりたいと思ったり、 た違う職種に就きたいと思った いうと、

私は優柔不断なので、

ま

を学んでいく中で、保健師への道

も考えるようになりました。正直

ましたが、地域の実習や地域看護 看護師になるために勉強をしてい 強しています。大学入学当初は、 は看護学部で夢を叶えるため、勉 社会の一員として働くために、 はありません。しかし、

これから

まだ社会に出て働いているわけで りません。現在は学生の身であり、 動、言動に責任を持たなければな

今までの私たちは、両親や地域社会の保護のもとに過ごしてきた、いわば親鳥の羽に抱かれた ヒナ鳥にも似た存在でありました。

しかし、今日からは違います。私たちは、ひとりの公民として、社会の一員として、独立した 社会生活を営むことになりました。それは大いなる誇りであり、大いなる喜びでもあります。し かし、未知の世界に対する不安もぬぐうことができません。そういう私たちに、皆様からいただ いた励ましのお言葉は何よりの力づけであります。

私たちも、新しい人生を生きぬこうとする決意は持っておりますが、なんにせよ若輩者であり ます。困難にぶつかって、決意のくじける事があるかも知れません。つまずき、よろめくことが あるかも知れません。その時は、いま一度私たちにお手をお貸しください。皆様の尊い人生経験 を私たちにご指導ください。

東日本大震災の経験からも私たちの前途が平穏無事でないことは十分承知しております。皆様 の励ましと、お導きを杖として一歩一歩歩み、いつの日か顧みて、よくぞ歩いたと思える人生に したいと思っています。それが、本日盛大な式を挙げて出発を祝ってくださった皆様への恩返し であると思っております。

最後になりましたが、本日の式典開催にご尽力いただきました関係者の皆様に心より御礼を申 し上げ、成人代表の謝辞とさせていただきます。

皆様、本日は誠にありがとうございました。



ような素晴らしい成人式を開いて 本日は、 私たちのために、 この

祝辞をいただき、 ます。ご来賓の皆様より数々のご くださり、 上げます。 誠にありがとうござい 心より御礼申し

支えられながら過ごしてきました ある二十歳を迎えました。 私たちは、 二十歳を迎えた今、 両親や祖父母、 人生の大きな節目で 周りの方々に 今まで

は、

は たち 本を ひかり さん